

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成13年度病虫害発生予察情報について（送付）

このことについて、速報第1号を発表したので送付します。

平成13年度病虫害発生予察速報第1号

- 1 対象作物 早期水稻、早植水稻
- 2 病虫害名 斑点米カメムシ類
- 3 発生状況
  - (1) 7月2半旬の調査（片振り20回すくい取り）の結果、主要3種（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ）の発生量は畦畔で1.3頭（前年1.1頭）、雑草地で3.6頭（前年23.6頭）であった。なお、カスミカメ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）については畦畔で7.0頭（前年5.6頭）、雑草地で10.9頭（前年13.9頭）であった（表1参照）。
  - (2) 発生量は前年並であるが、発生量が多い地域が一部みられた。
- 4 防除対策
  - (1) 斑点米カメムシ類成虫の飛来は中山間地や出穂の早い水稻ほど多くなるので、これらの地域では特に注意を要する。
  - (2) 薬剤防除の適期は穂揃期であるが、例年発生が多い地域や水田周辺にイネ科植物が繁茂した雑草地があるほ場では、1回の防除では不十分なので、1回目の防除の7～10日後に再度の防除を行う。
  - (3) 斑点米カメムシ類は夕方（17時以降）には場で増加する傾向があるので、薬剤防除を17時以降に行うと効果的である。
  - (4) 出穂期以降に畦畔や休耕田の除草を行うとカメムシ類の本田への飛び込みを助長するので、出穂以前に早めの除草を行う。
  - (5) 防除薬剤は、平成13年度普通作物病虫害防除基準を参照し、農薬安全使用基準の収穫前使用規制日数を遵守する。

表1 畦畔・雑草地における斑点米カメムシ類の発生量(頭)

調査地点	畦畔		雑草地	
	主要3種	カスミカメ類	主要3種	カスミカメ類
福岡市早良区早良	2	0	88	19
福岡市早良区脇山	0	0	9	6
福岡市西区元岡	0	0	0	0
筑紫野市柚須原	0	0	0	0
宗像市朝町	0	0	0	0
那珂川町安德	0	0	4	48
津屋崎町生家	0	1	0	0
津屋崎町勝浦	0	14	0	0
大刀洗町富多	0	2	0	1
久留米市宮ノ陣町	0	6	3	12
甘木市馬田	0	0	1	8
小郡市力武	1	9	0	8
朝倉町田中	0	68	-	-
三輪町久光	0	13	0	59
夜須町東小田	0	0	0	0
小石原村小石原	0	2	8	0
宝珠山村福井	-	-	1	0
吉井町新治	0	0	0	0
田主丸町牧	0	0	0	0
浮羽町山北	0	0	-	-
北野町中	0	0	1	0
大刀洗町富多1	0	2	0	1
大刀洗町富多2	-	-	0	0
穂波町安恒	0	0	0	0
添田町落合	0	0	0	0
糸田町打越	0	0	-	-
大任町柿原	0	0	0	0
柳川市寿硯	-	-	3	42
柳川市昭代	-	-	0	36
八女市今福	-	-	3	3
八女市立野	0	0	0	2
城島町江上	0	1	-	-
三潁町西牟田	-	-	2	0
黒木町木屋	-	-	8	22
広川町一条	0	0	1	35
三橋町棚町	7	1	-	-
高田町昭和開	-	-	1	0
瀬高町泰仙寺	-	-	1	6
北九州市小倉南区曾根	0	1	-	-
北九州市小倉南区合馬	0	0	7	17
北九州市八幡西区木屋瀬	0	31	4	41
北九州市若松区乙丸	-	-	8	31
北九州市小倉南区貫	3	27	4	6
中間市砂山	0	0	0	0
岡垣町手野	10	6	-	-
遠賀町木守	0	0	0	0
行橋市西谷	0	0	0	1
豊前市久路土	3	1	1	0
豊前市堀立	0	8	0	48
豊前市岩屋	0	0	9	2
苅田町猪熊	14	0	7	0
犀川町内垣	0	2	0	0
勝山町上田	9	5	0	79
豊津町徳政	12	62	3	2
椎田町湊	1	58	0	0
新吉富村八ツ並	1	17	-	-
大平村土佐井	0	0	-	-
築城町小山田	0	0	1	1
本年	1.31	7.02	3.63	10.94
前年	1.06	5.58	23.56	13.88

調査時期は7月2半旬で片振り20回すくい取り。

主要3種はクモヘリカメムシ、ホリカメムシ、シラネカメムシ。

カスミカメ類はアカスミカメ、アキヒゲホリミドリカスミカメ。